

2019年度 多摩学班

「多摩地域の産業から未来を描く
～住み続けたい街の実現に向けて」

学部生：遠藤、馬場、伊東、神尾、白井

大学院OB：菊永

本日の発表内容

I リサーチクエスチョンとその経緯

- ・ 背景と目的、調査方法などを精査していく

II 多摩地域の地勢と歴史

- ・ 多摩地域の歴史から、人口動態の推移や交通機関などの変遷、地勢と街の変遷などを読み解く

III 多摩地域の産業実態と変化

- ・ 多摩地域の現在の産業特性や変化を見て地域の現状を知る

IV 10年後の多摩地域の姿

- ・ 10年後の多摩地域の街・モノ・人、現在の姿から推測する

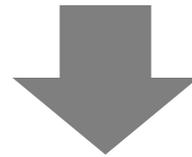
V 文献リスト



I. リサーチクエスチョン

今年度のリサーチクエスト

多摩地域が住み続けたい街であり続けるために
どうしたらよいのか？



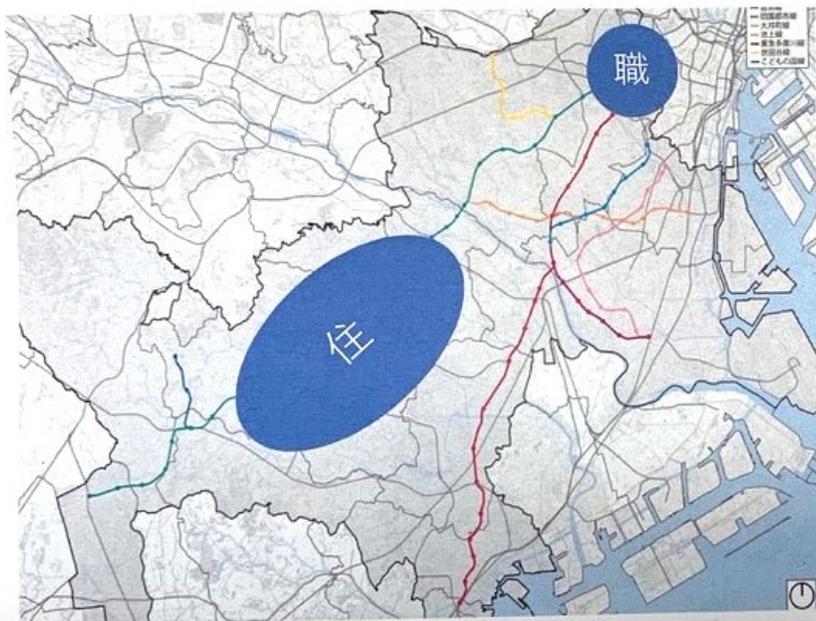
「産業の視点」から分析しありたい姿の洞察へ



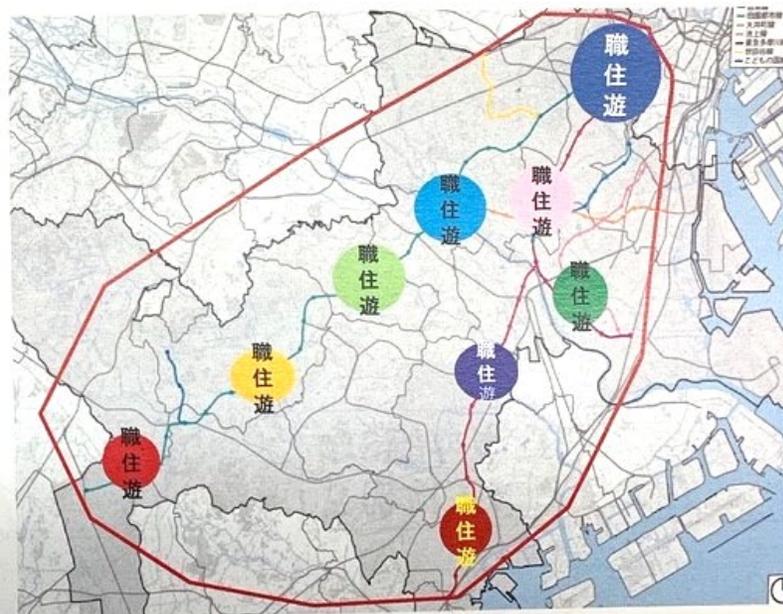
ヒアリング調査

東急電鉄へのヒアリング

二極化・機能分担型都市構造

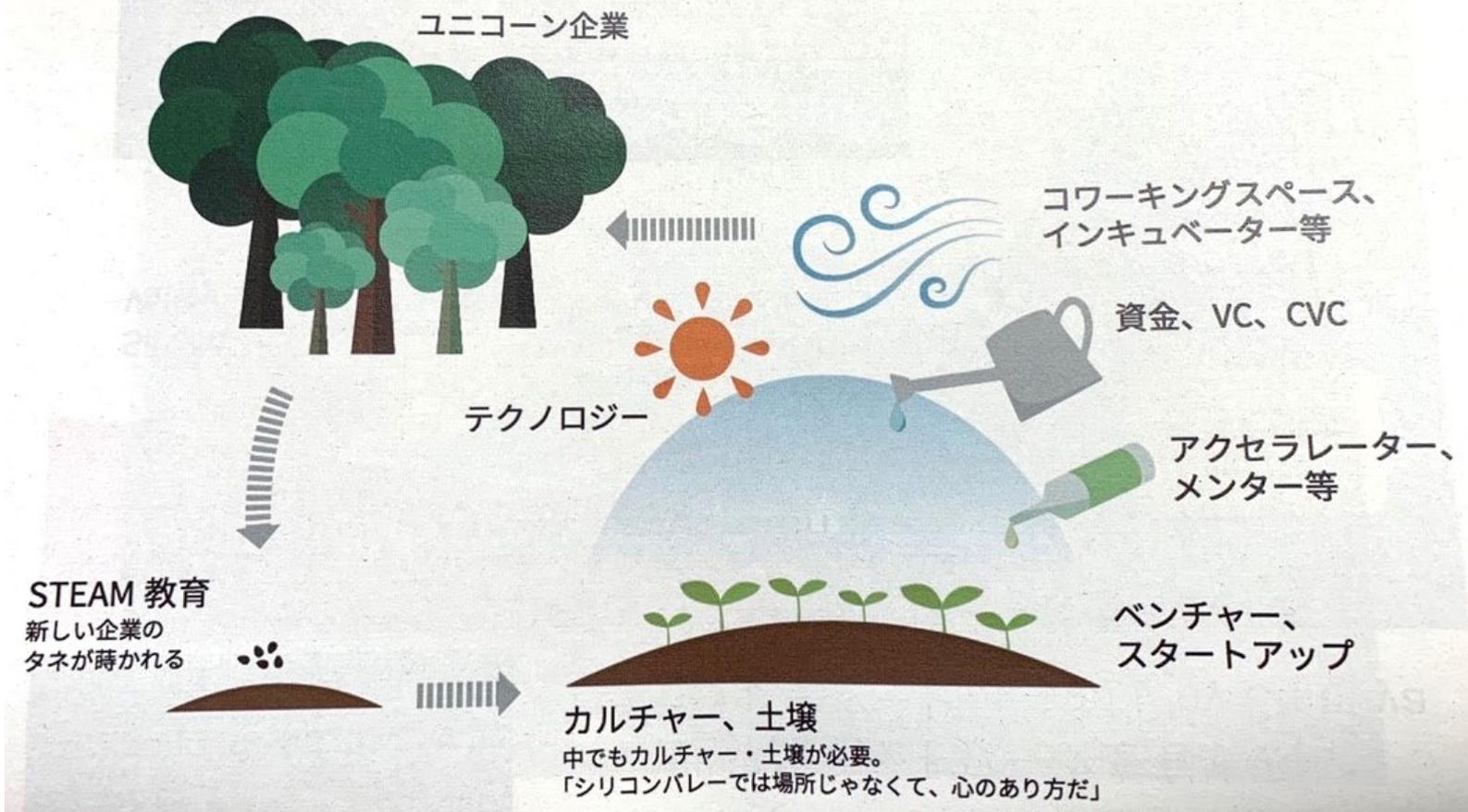


自律分散型都市構造



ヒアリング調査

渋谷に形成されているイノベーションの森 (Innovation Ecosystem)
オープンイノベーションで最も重要なもの

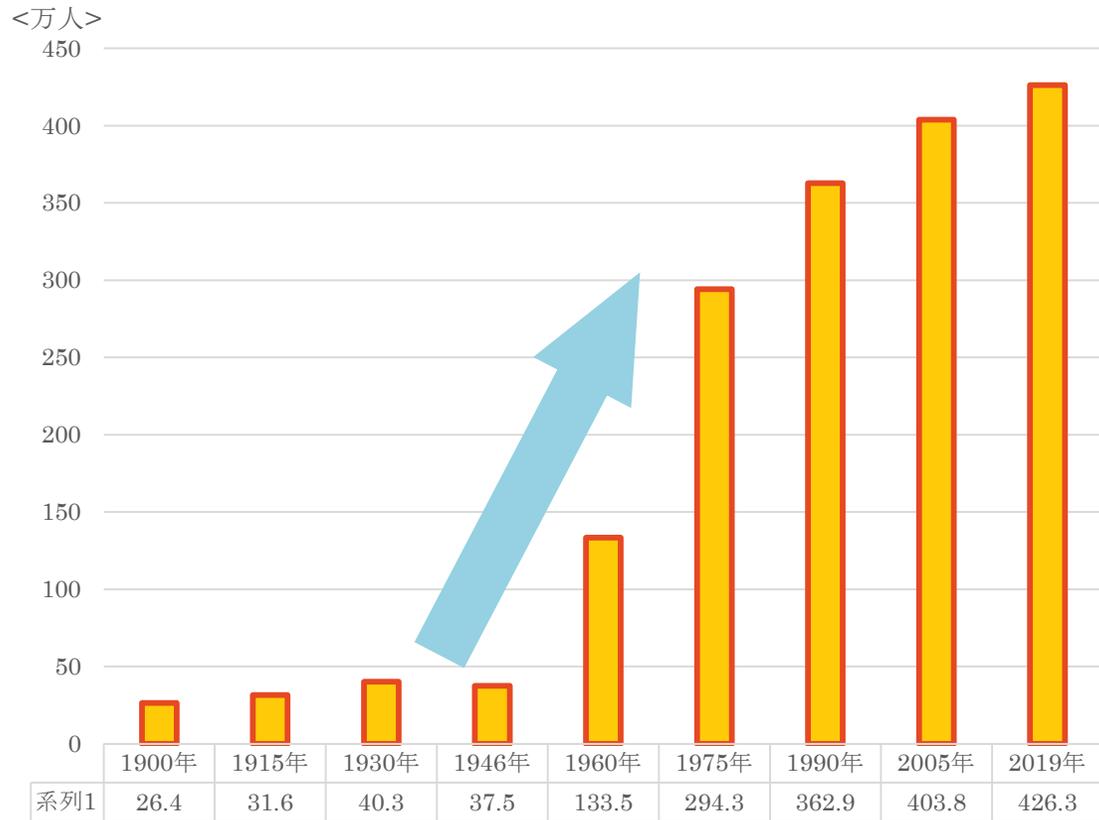


II. 多摩地域の地勢と歴史

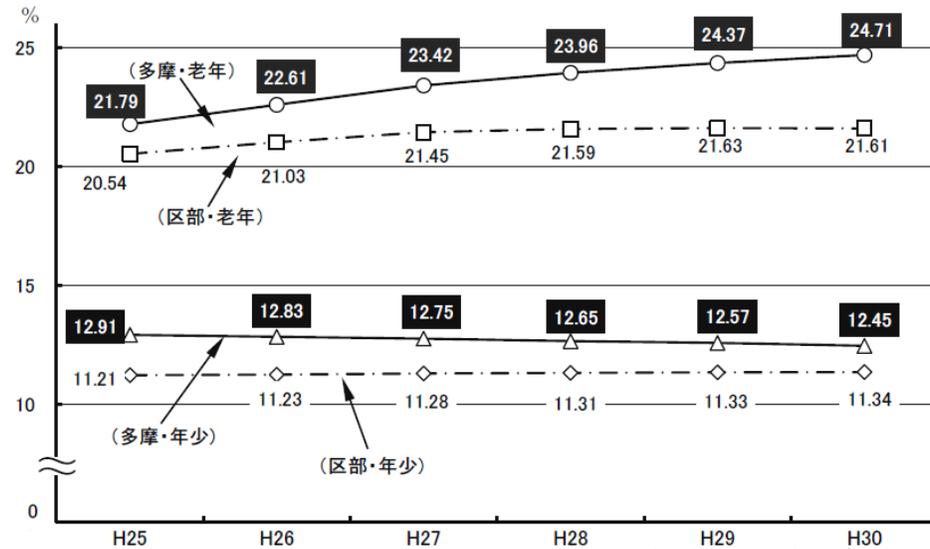


多摩地域の地勢と歴史

多摩地域の人口の推移と特性



東京府庁、東京都統計局より（著者作成）



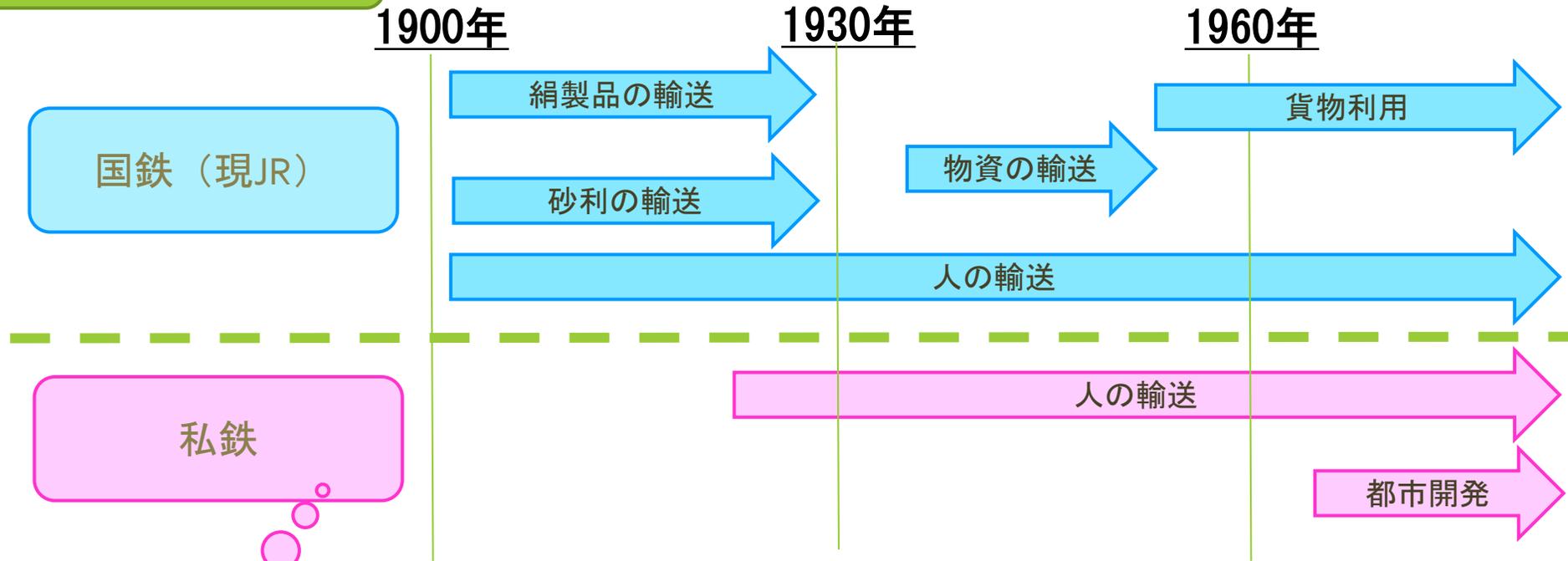
多摩地域データブック2019年版より抜粋

○高齢化は急激に進む一方で、年少人口、生産年齢人口は徐々に減少していく予測。

○戦後すぐ～高度経済成長期に膨れ上がる
→都心からの離脱者、多摩ニュータウンの開発が影響か

多摩地域の地勢と歴史

交通環境の変遷



小田急、京王、
西武、東急、

- 国鉄は主に産業用に、私鉄は住民の足として機能していた
- 私鉄各社の都市開発事業が進んでいる

多摩地域の地勢と歴史

軍需の拠点：多摩地域の今と昔一例

場所	以前の姿	現在の姿
日立航空機立川工場	軍用飛行機のエンジン工場	インドアテニス場などのスポーツ施設
立川飛行場 「立川、昭島」	多摩最大の軍都の中心をなした。当時は、ジェット燃料輸送に使われていた。のちに、各兵器や燃料、弾薬などの補給・整備・修理	当面は米軍立川基地だった。現在は国営昭和記念公園、ショッピングモール、ゴルフ場など様々

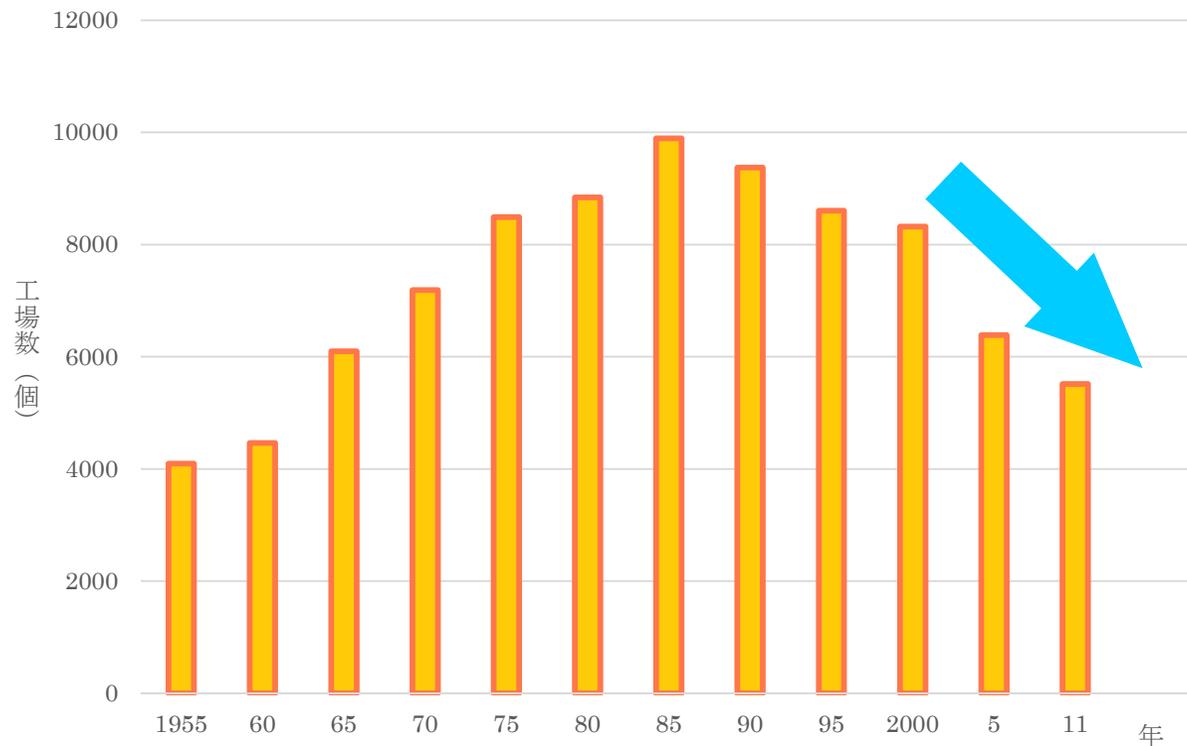
軍需企業から民需企業へと変化した企業の一例

企業	以前の生産品	現在の生産物
JUKI（東京重機製造工業組合）	機関銃（太平洋戦争用）	家庭用ミシン

Ⅲ. 多摩地域の産業実態と変化

多摩地域の産業実態と変化

多摩地域の工場数推移



多摩地域の事業所数推移

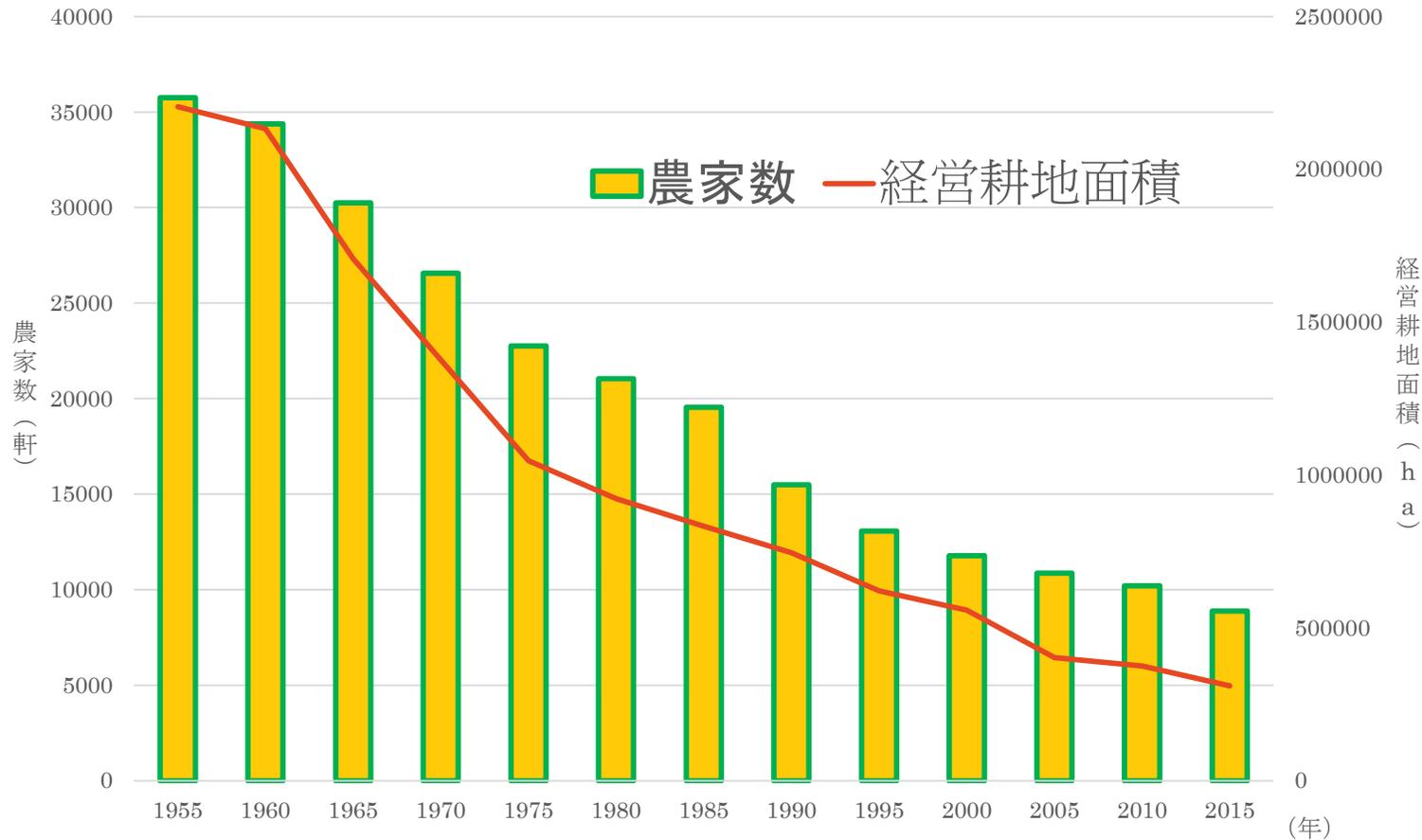
	1953年	1969年	1986年	2001年	2016年
第二次産業	6905	13103	24334	23296	18598
第三次産業	24054	58016	103231	111088	106432

- 高度経済成長期と共に急上昇
- 1985年頃をピークに事業所・工場共に減少傾向にある
- 第三次産業に占める割合が年々増えている
- 近年の減少がめざましい
- 相次ぐ不況により、元からあった工場は海外や地方に移転したのではないか

両グラフ共に東京都統計年鑑より (著者作成)

多摩地域の産業実態と変化

多摩地域の農業推移

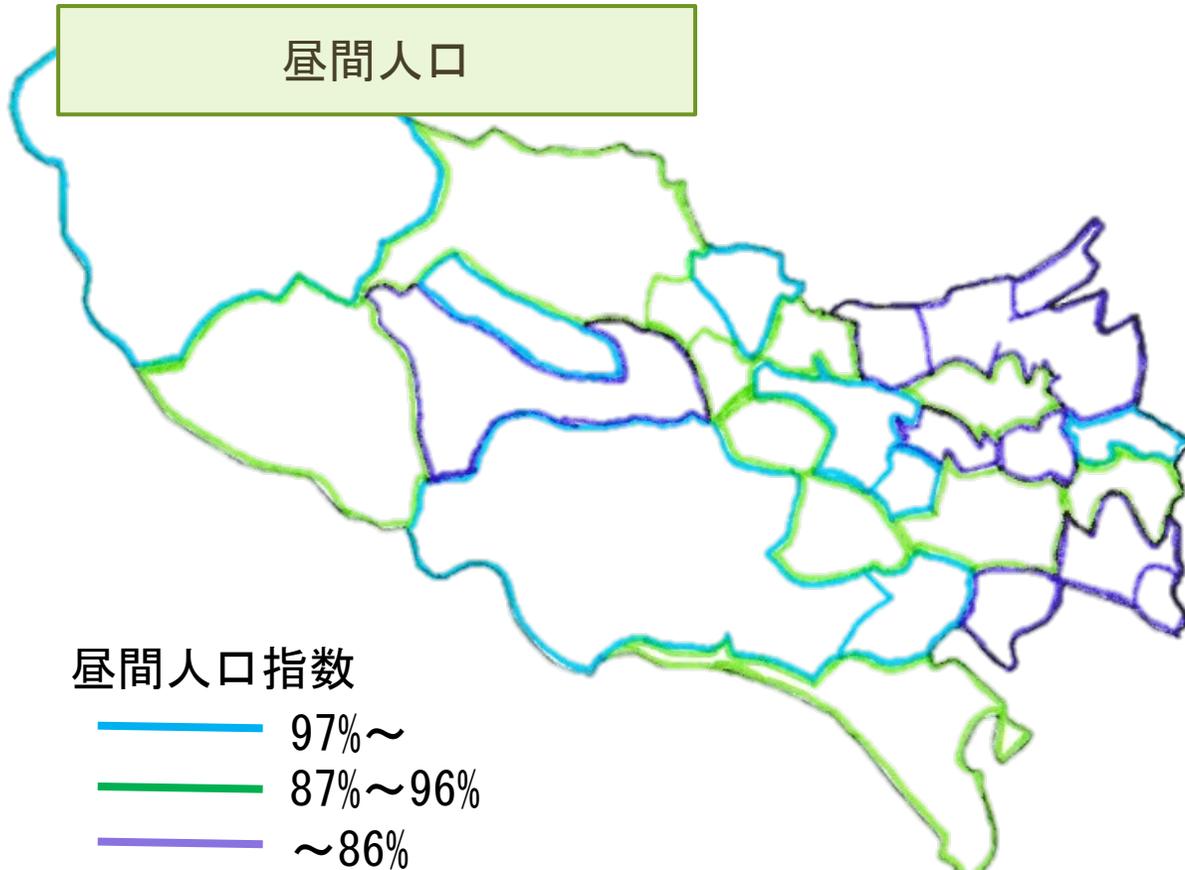


○情報開示当初から減少を続けている
○1960～70年代の街の開発の活性化により減少幅が大きいのではないかと

東京都統計年鑑よりグラフ作成

多摩地域の産業実態と変化

多摩地域の従業員特性



2018年多摩地域データブックより（著者作成）

昼間人口	自治体と年商10億以上の企業数
少ない	稲城市→8社 狛江市→21社 小金井市→14社
多い	八王子市→207社 青梅市→61社 立川市→121社 多摩市→57社

都心まで
およそ20分

○昼間人口の多い自治体には企業の数が多い
○昼間人口が少ない自治体の近くには企業の多い自治体、特別区、他県に面している
→勤務先の近くに住居を置く
→特別区や川崎市に面している地域の住民は多摩地域外に勤務先がある人が多いのではないかと

IV. 10年後の多摩地域の姿

10年後の多摩地域の姿

これらの分析から見える多摩地域の問題点

工場数、事業所数の減少

第三次産業の減少幅より第二次産業の減少幅が大きい

雇用者数が限られる

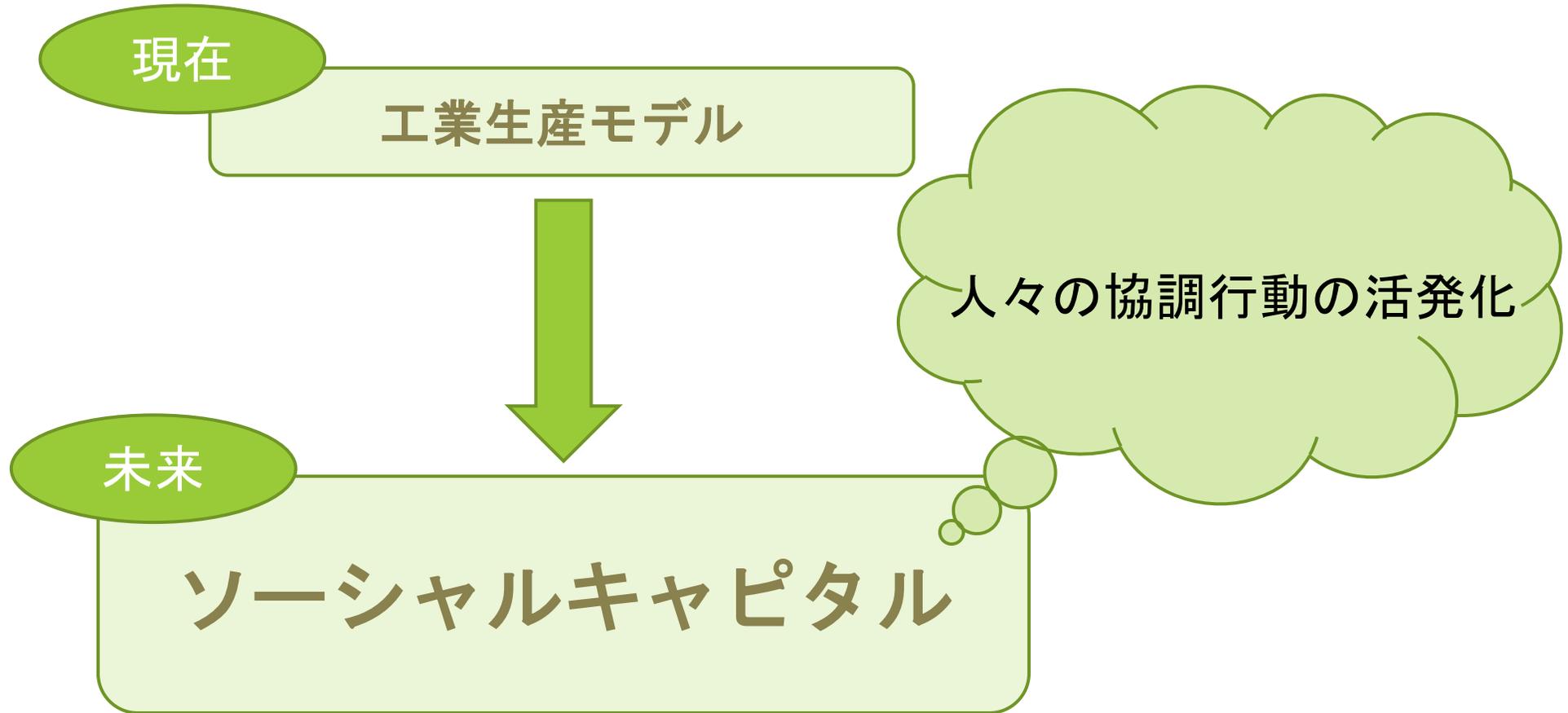
リニア新幹線の開通に伴い郊外でも都心にすぐに出られるようになる

テレワークの推進が進めば、会社に行く頻度がググっと減る

多摩地域に住むメリットが1つなくなる

これから人口流出が起きてしまうのではないか

10年後の多摩地域の姿



参考文献リスト

多摩地域の地勢と歴史

- ・小川邦孝『東京府廳』東京製本合資会社 1902年3月20日
- ・東京府『大正十年 東京府統計書』山本印刷所 1923年8月10日
- ・東京府『昭和6年 東京府統計書』東京府 1926年9月
- ・総理府統計局『昭和22年臨時国勢調査結果報告全国都道府県郡市区町村別人口』総理府統計局 1948年3月
- ・東京都『第12回東京都統計年鑑』杉田屋印刷株式会社 1961年12月20日
- ・東京都総務局統計部人口統計課『人口の動き』株式会社核印 2019年3月
- ・たましん歴史・美術館歴史資料室 (2011) 『多摩のあゆみ特集 戦時下の地域社会 その2』株式会社ぎょうせい
- ・たましん歴史・美術館歴史資料室 (2010) 『多摩のあゆみ特集 空中写真で地域を読み解く』株式会社ぎょうせい
- ・財団法人たましん地域文化財団『多摩のあゆみ特集 79号 特集戦時下の多摩』たましん歴史美術館出版
- ・村上直 (1981) 『わが町の歴史川崎』株式会社文一総合出版
- ・「京王電車」沿線地域の産業の発展 ～ 千歳烏山・調布 (京王沿線)
- ・江澤隆志 (2010) 『知られざる軍都 多摩・武蔵野を歩く』洋泉社
- ・日本国有鉄道『復刻版日本国有鉄道百年史 第6巻』株式会社成山堂書店 1997年12月
- ・日本国有鉄道『復刻版日本国有鉄道百年史 第8巻』株式会社成山堂書店 1997年12月
- ・日本国有鉄道『復刻版日本国有鉄道百年史 第10巻』株式会社成山堂書店 1997年12月
- ・日本国有鉄道『復刻版日本国有鉄道百年史 第11巻』株式会社成山堂書店 1997年12月
- ・日本国有鉄道『復刻版日本国有鉄道百年史 第13巻』株式会社成山堂書店 1997年12月
- ・日本国有鉄道『復刻版日本国有鉄道百年史 通史』株式会社成山堂書店 1997年12月
- ・日本国有鉄道『復刻版日本国有鉄道百年史 年表』株式会社成山堂書店 1997年12月
- ・関満博 (1995) 『地域経済と中小企業』ちくま新書
- ・たましん地域文化財団 (2005) 『多摩のあゆみ特集 戦時下の地域社会 多摩の空襲』
- ・多摩のあゆみ 特集 戦時下の地域社会 多摩の空襲 5ページ
- ・多摩のあゆみ 特集 戦時下の地域社会 多摩の空襲 8,9ページ
- ・多摩のあゆみ 特集 戦時下の地域社会 8ページ
- ・財団法人たましん地域文化財団『多摩のあゆみ特集 79号 特集戦時下の多摩』たましん歴史美術館出版 1995年 P.2～18
- ・「京王電車」沿線地域の産業の発展 ～ 千歳烏山・調布 (京王沿線) <https://smtrc.jp/town-archives/city/chitosekarasuyama/p04.html> > 2019年6月27日アクセス
- ・江澤隆志 (2010) 『知られざる軍都 多摩・武蔵野を歩く』洋泉社
- ・関満博 (1995) 『地域経済と中小企業』ちくま新書
- ・たましん歴史・美術館歴史資料室 (2011) 『多摩のあゆみ特集 戦時下の地域社会 その2』株式会社ぎょうせい
- ・たましん歴史・美術館歴史資料室 (2010) 『多摩のあゆみ特集 空中写真で地域を読み解く』株式会社ぎょうせい 36ページ
- ・「総務省 立川市における戦災の状況 (東京都)」 <http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/daijinkanbou/sensai/situation/state/kanto_21.html> 2019年8月30日アクセス
- ・「総務省 八王子市における戦災の状況 (東京都)」 <http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/daijinkanbou/sensai/situation/state/kanto_20.html> 2019年8月30日アクセス
- ・「総務省 川崎市における戦災の状況 (神奈川県)」 <http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/daijinkanbou/sensai/situation/state/kanto_22.html> 2019年8月31日アクセス
- ・洋泉社編集部編 (2010) 『知られざる軍都多摩・武蔵野を歩く』洋泉社。
- ・牛田守彦 (2011) 『戦時下の武蔵野』ぶんしん出版

- ・ 国勢調査各年
- ・ 経済センサス、事業所・企業統計調査各年
- ・ 商業統計各年
- ・ 公益財団法人 東京市町村自治調査会「多摩地域データブック」
- ・ 東京都「多摩の振興プラン」
- ・ 各自治体の調査報告書
- ・ 公益財団法人東京市町村自治調査会『多摩市町村のあゆみ』 2014年4月1日
- ・ 脇田修・大山喬平 『日本史B』 実教出版 2016年1月25日
- ・ 高校日本史B新訂版 実教出版 2019年1月25日
- ・ 浜島書店編集部 『新詳日本史』 浜島書店 2016年2月4日
- ・ 日経産業新聞 『第2部にぎわいのあと（下）東京・多摩、日野自が工場移転、進む市街化——郊外成長、中小が主役（産業代謝）』 2016年12月8日
- ・ 日経ヴェリタス 『東京産で、暮らす』2019年3月24日
- ・ 朝日新聞東京本社社会部『多摩の百年 下 絹の道』 朝日新聞社 1976年11月30日
- ・ 武蔵野郷土史刊行会 『多摩の歴史7 八王子市 / 町田市 / 秋川市 / 多摩市 / 日野市』株式会社 明文社 1975年12月20日
- ・ 日本経済新聞 『圏央道結ぶヒトモノ（下）生産拠点、新たに集積——首都圏北部、企業誘致進む。』 2017年8月25日
- ・ 企業立地支援制度 | 日野市公式ホームページ <http://www.city.hino.lg.jp/sangyo/sougyo/1003488.html> 閲覧日 2019年9月6日
- ・ 歴史 | シンフォニアテクノロジー <https://www.sinfo-t.jp/100th/history.html> 閲覧日 2019年9月6日
- ・ 国内拠点 - 会社概要 富士電機 <https://www.fujielectric.co.jp/about/corporate/organization/network.html> 閲覧日 2019年9月6日
- ・ 日本経済新聞 『日野自、古河をマザー工場に、海外供給を加速。』 2017年10月13日
- ・ 日本経済新聞 日野自が本社工場閉鎖へ 地元に波紋、跡地活用も焦点に 2011年1月21日
- ・ 高速道路開通情報 高速道路の建設 事業案内 企業情報 高速道路・高速情報はNEXCO 中日本 <https://www.c-nexco.co.jp/corporate/operation/construction/open/past.html> 閲覧日 2019年8月17日
- ・ 江井秀雄 『多摩近現代の軌跡』 けやき出版 1995年
- ・ 狛江市史編集専門委員会委員会 『新狛江市史 資料編 近現代 3』 狛江市 2018年
- ・ 武蔵野郷土史刊行会 『多摩の歴史7 府中市 / 調布市 / 狛江市 / 稲城市』株式会社明文社 1975年
- ・ 多摩百年史研究会 『多摩百年のあゆみ』 けやき出版 1993年04月
- ・ 日本銀行統計局『明治以降本邦主要経済統計』 並木書房 1999年
- ・ 経済センサス - 基礎調査 平成26年経済センサス - 基礎調査 参考表 参考表2 産業（大分類）別民営事業所の売上（収入）金額試算値—全国、都道府県、市区町村 ファイル 統計データを探す 政府統計の総合窓口 <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00200552&tstat=000001072573&cycle=0&tclass1=000001077419&tclass2=000001080216> 閲覧日2019年10月7日
- ・ 東京都統計年鑑<http://www.toukei.metro.tokyo.jp/tnenkan/tn-index.htm> 閲覧日2019年11月29日

ご清聴ありがとうございました！